

会 議 録

会議の名称	第1回津山地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和元年 7月17日(水)	
	午後 7時 00分 開会	
	午後 8時 30分 閉会	
開催場所	津山老人福祉センター 2階集会室	
委員出席者	佐々木 大 輔 委員	津山中学校PTA会長
	佐 藤 良 紀 委員	柳津小学校PTA会長
	今 野 政 雄 委員	津山中学校学校運営協議会長
	林 三 治 委員	柳津小学校学校運営協議会委員
	浅 野 茂 美 委員	横山小学校学校運営協議会長
	阿 部 篤 雄 委員	津山町行政区長会副会長
	佐々木 江 梨 委員	つやま幼稚園保護者会長
	阿 部 宗 幸 委員	杉の子保育所保護者会長
事務局出席者	大 森 國 弘	教育部長
	小 林 和 仁	学校再編推進室長
	岩 淵 裕 喜	学校再編推進室学校再編推進係長
	菅 野 雅	学校再編推進室主事
	佐 藤 鷹 彦	学校再編推進室主事
欠席者	菅 原 祐 也 委員	横山小学校PTA会長
傍聴者	0名	
議事	(1) 学校再編の方針 (2) 学校再編準備委員会の概要について (3) 会議の運営について	
挨拶	事務局	開会 午後7時00分
	教育部長	開会挨拶
	委嘱状交付	委員へ委嘱状を交付
	委員長・副委員長選任	事務局案により委員長は佐々木大輔委員、副委員長は阿部篤雄委員に決定
	委員長	議事(1) 学校再編の方針について事務局へ説明を求める。
	事務局	(資料に基づき学校再編の方針について説明)
	委員長	事務局の説明に対して意見はあるか。 (意見無し)
	委員長	議事(2) 学校再編準備委員会の概要について事務局へ説明を求める。
事務局	(資料に基づき学校再編準備委員会の概要について説明)	
委員長	事務局の説明に対して意見はあるか。	

事務局	先ほどの説明について、補足をさせていただく。資料2内の「学校再編の進め方 概要図」でも示しているとおりに、委員の皆様には、各組織の代表者として組織内の意見の取りまとめを行っていただき、その意見を基に検討を行っていくことになる。
委員	今説明のあった意見の集約について、PTAであればアンケートといった方法も考えられるが、区長会、学校運営協議会での意見集約についてはどうすべきか。
事務局	その点については、教育委員会でも現在検討をしている。もし、ご意見があれば本日の会議でいただければと考えている。
委員	再編についてということで集まる機会を設けることも可能だと思うが、少ない回数の中でどのようにして意見の集約を行うか検討する必要がある。それ以外にも、顔をあわせる機会があれば教育委員会の考えや、準備委員会の状況については、報告を行い、意見がある際には収集を行うよう努めていきたい。意見集約の方法については、案件ごとに適した形を考えていければと思う。
委員	アンケートについては、学校ごとにではなく一貫した内容のもので行う必要があると思う。アンケートの項目については教育委員会の方からも案を示していただければと思う。
事務局	アンケートの内容や今後の検討事項については、次の議題で説明をさせていただきます。
委員長	その他に意見がないようなので、次の議題(3)会議の運営について事務局へ説明を求める。
事務局	(資料に基づき会議の運営について説明)
委員長	意見をいただく前に事務局から先ほどのアンケートについて説明を求める。
事務局	アンケートのとり方について、先ほども話があったが、小中学校、幼稚園、保育所については、学校を通じて行うことになる。区長会、学校運営協議会については、個別に相談を行い、第2回の委員会の中で提示させていただく。
委員長	説明の中で、委員会は月1回の開催を予定しているということであったが、アンケート調査や意見集約に要する時間を考えると少し難しいと思うが、月1回の開催ということによろしいか。 (異議なし)
委員長	それでは、基本的には月1回程度の開催とする。多少の期間が前後して

	<p>しまう部分は問題ないか。</p>
事務局	<p>基本的に月1回の開催とするが、意見集約などに時間がかかることも考えられるので、会議の開催時期については、柔軟に対応したい。</p>
委員	<p>アンケートについてだが、何も無い状態でアンケートをとっても意見の集約は難しいと思う。アンケートをとる際は、準備委員会の意見をなるべく反映させたもので行いたい。平成27年に学校再編の話聞いた時は中身が何も決まっていなかったのが議論にならなかった。委員会である程度の方向性を検討した上でアンケートを行えばと思う。</p>
委員	<p>アンケートは、質問の内容によって結果も大きく変わる。津山町は、柳津と横山との合併によりできており、地域間の確執が残っている。今の時代にそのような理屈は通用しないが、一歩間違えると地域間での綱引きになりかねないので、アンケートの内容については、まず現状について理解してもらい、その上で問いかけを行っていくようなものにできればと思う。</p>
委員長	<p>他に何か意見はないか。</p>
委員	<p>学校がなくなることを地域が納得できるかが心配。しかし、児童数の推移を見てみると現状に限界を感じる。地域に理解してもらえような方法で進めていきたい。</p>
委員	<p>再編について、必要か不必要かを考えたとき個人的には必要と考えている。当然、地域が廃れるといった問題も考えられるが、子供達のことを一番に考えていきたい。その上で、多くの意見を聞き再編の方向性を検討していければと思う。</p>
委員	<p>最終的には子供のことが一番だと思う。</p>
委員	<p>現状の数字を見ても再編は必要であると思う。重要になってくるのはそのやり方になる。</p>
委員	<p>計画的に進めていくことも重要だが、内容がシビアなものなので慎重に進めるべきところは、慎重に進めていきたい。本日いただいた資料の相対評価表は、柳津小学校、横山小学校の数字を入れた上で次回いただけるのか。</p>
事務局	<p>事務局の方で各学校の数字を入れ、項目ごとの評価の視点を示した上で皆様に比較を行っていただく。評価表の項目について、追加した方が良いもの等があればこの場で発言していただければと思う。</p>
委員長	<p>事務局から評価表の項目の追加等についてお話があったので、一度評価表の内容を確認する時間を設ける。</p>
委員	<p>位置を決める際には、柳津、横山両地域の人が納得した場所にしなければ</p>

	<p>ばならない。また、両校舎ともに建築後 40 年近くを経過している。老朽化の度合いについても重要な判断基準になる。</p>
事務局	<p>先日米山地域で同様の話をした際には、耐震補強工事についての情報、統合後の児童数に対して必要となる教室数についての情報などが意見として出た。この二つについても資料に反映させた形でお出しする。</p>
委員長	<p>校舎の老朽化について話があったが、他に意見はないか。</p> <p>(意見なし)</p>
委員	<p>今は小学校の再編についてだが、いずれ中学校についても考えていかなければならないと思う。令和 20 年度時点での津山地域の小学校の児童数が 46 人となっている。中学校だと学年の数が半分になるので、さらに少ない人数となる。津山地域については、中学校の再編についても検討が必要と思う。</p>
事務局	<p>再編構想の中では、小学校を優先して行うこととし、中学校については、必要と判断されたときに検討を進めるとしている。準備委員会の中で必要と判断された場合についてだが、中学校の地域については、まず、どの地域と統合することになるのかの検討、また、相手方の地域でも準備委員会を立上げ検討を行っていただくこととなる。したがって、小学校の再編と比較して時間を要することが予想される。詳細については、事務局で整理させていただいて次回説明させていただく。中学校の再編の必要性については、アンケートの中に含めることによって保護者から意見をいただくこともできる。アンケートの案については次回までに事務局で案をまとめたい。アンケートについては何度も行うことは難しいので、今回時間を掛けて行いたい。</p>
委員長	<p>アンケートの話が先ほどから出ているが、アンケートの内容については再編の是非、位置等が考えられるがそれ以外に何か意見はないか。</p>
委員	<p>座談会のときにも気になったのだが、津山地域は統合後であっても、令和 20 年度には児童数が 46 人となっているが、再編構想の考え方では町域に 1 校は配置するとなっている。この考え方は変わることはあるのか。統合後また新たな統合はあるのか。</p>
事務局	<p>今回の再編の基本的な考え方は、1 学年 2 学級以上を目指すこととしている。しかし、通学の負担を考慮し、町域に 1 校は配置するとしている。津山地域に関しては統合時点で学年単学級となっている。教育委員会としては学年単学級については解消したいと考えているが、通学距離を考えた際に、市内全ての学校で実現することが難しいことも理解している。小規模校については、小規模の特長を生かした学校づくりを目指すような意見も頂いているので、それについては再編とは別に検討を行っていくべきであると考えている。</p>
委員	<p>アンケートを行う際は、そのような考えがあると理解してもらった上で</p>

		行ったほうがよい。
委員長		アンケートの内容について、事務局で何か考えているものがあれば説明を求める。
事務局		アンケートについては、過去に行ったものなどを参考に次回の会議までにたたき台としてお示しする。委員の皆様には次回の会議で、アンケートの内容について意見をいただき、次回の会議の中でアンケートの内容について、検討を行っていく。
委員長		アンケートの内容については、次回の会議で事務局から案を示すということなので、委員については各団体の中でアンケートに加えるべき事項のとりまとめを行うということで良いか。 (異議なし)
委員長		次回の会議日程を決めたい。事務局案はあるか。
事務局		会議の運営について、先ほどおおよそ月1回の開催ということで了解を得たので、事務局としては8月20日に開催したいと考えている。出席できない場合については、代理出席も可能である。
委員長		事務局案に対して意見はあるか。 (異議なし)
委員長		次回の会議は8月20日とする。
委員		再編については、柳津小学校か横山小学校どちらかの校舎を利用するものと思っていたが、新築ということも有り得るのか。
事務局		基本的には既存校舎を活用していく考えである。市では校舎の耐用年数をおおよそ65年程度として考えており、津山地域の小学校の校舎の建築後の経過年数からいくと20年程度は活用できるものと考えている。必要な施設改修を行い、有効活用を図っていきたい。
委員		校舎について、アンケートの中に新築という項目があれば当然、新築を希望する人が多くなると思う。アンケートを行う際に市で対応できる部分、できない部分を明確にした上で行う方がよい。
委員		校舎以外の部分についても、市の方針について示したほうが良い。
事務局		内容についてはある程度絞った方がよいとは思う。
委員		実現できないものをアンケートの中に含んでしまうよりは、実現できる範囲をはっきり示した上でアンケートを行う方がよい。

委員	準備委員会の意見もだが教育委員会の考えというものを示してほしい。
委員	アンケートを行った際に柳津と横山で割れてしまわないか心配だ。
委員	全員がそうとは限らないと思う。当然自分の地域に学校が残った方が良いとは思いますが、現状を考えたときに他方の地域を選択することもあると思う。
委員	現時点で津山町は幼稚園、中学校は1つだが小学校だけ2つになっている。校舎の位置を柳津、横山どちらにするかという問題はあるが、幼稚園の時点で一緒だったものを小学校で一度分けた後に中学校で1つにするよりは、ずっと一緒にした方が子供にとっても良いのではないかと考える。今回アンケートをとることによって、住民の考えを知ることができると思う。
委員	両方の校舎ともに40年程度が経過しているが、どちらの校舎が良いかを判断するのは難しい。
委員	今の校舎の耐久性、今後何年持つかを調べてもらい、後20年ということであれば、今の校舎を20年後の児童数に合わせた規模にするということも考えられる。今校舎を新しく建てた場合、20年後に児童数が40人程度になり再度再編を行うとなった際に、校舎をどうすべきかが問題となる。将来的なことを考え、今回はどちらかの校舎を使用し、数十年後人口がさらに減少した際に、再度の再編を検討するか、校舎の規模を縮小し運営するか判断するといった方法が考えられる。
委員	横山地域に関しては、大雨の際の避難所はどうなるのか小学校の校長に聞いた際は学校の校庭といわれた。小学校の校舎は避難所としての役割もあると思うがこのような状態で利用できるか不安がある。
委員	避難所機能等の二次的、三次的な部分を示した上で各地域の住民にどちらの校舎にするかを判断することになると思う。
委員	現在の状況を理解できれば、どちらが良いかの判断はできるとは思う。
委員長	お話にあったように、条件等を示した上で検討を行っていくことになる。
事務局	相対評価表について、基本的には市内で統一したものをを用いるが、地域ごとに重要と捉える部分もあると思う。そこに関しては、資料に反映させていきたい。
委員	幼稚園から中学校まで子供を預けていたが、幼稚園で友達になった子と小学校6年間離れてしまい、中学校でまた一緒になるといったことが津山町では起こっている。校舎位置がどうなるかといった課題はあるが、良い方向に進めることができると思う。相対評価表の避難所機能については、洪水時のハザードマップを参考にしていると思うが、土砂災害のハザ

		ードマップも参考にして資料を作成して欲しい。
委員長		次回については、主にはアンケートの内容についての協議ということになる。
委員		平成 27 年度から津山地域で座談会等を行っていると思う。そこで出た意見については教育委員会でデータとして持っていれば、参考資料として使えるのではないかと思います。
事務局		データは所有しているので次回の会議に資料として提出したい。
委員長		確認だが、アンケートをとるとなった際、各組織に対してアンケートをとるということでよいか。全戸になるのか。
事務局		各組織に対してということ考えている。また、アンケートの実施主体についても、教育委員会としてよりは、PTA に対しては、PTA の名前でアンケートを行ったほうが協力を得やすいと考えている。これについては、次回の会議で相談させていただく。
委員長		本日の協議は以上とさせていただく。
事務局		閉会 午後 8 時 3 0 分